

QE スクエア



本欄は「会員の声」と同様、個人意見の主張の場であり、営利目的や誹謗等を除き、会員が自由に主張や意見を述べるためのスペースである。

●伊奈製陶のタイル実験（その2）

(株)小松製作所 細井光夫

1. はじめに

QE スクエアに、品質工学の考え方（不具合原因の排除ではなく原因の影響を減らす）につながる有名な事例であるタイル実験の簡単な紹介記事¹⁾を投稿したところ、ありがたいことに静岡品質工学研究会の森輝雄氏から「タイル実験は誤解されていることが多い」と連絡をいただいた。

それをきっかけに「タイル実験に関連するトンネル窯」が展示されていることを知り、隔月1回名古屋で開催されている計測機能研究会（日本規格協会主催）の参加者を誘ってINAXライブミュージアムを見学する遠足を企画し実行した。本稿では、見学時にINAXライブミュージアムの後藤泰男主任学芸員にいろいろ教えていただいたことを紹介して、タイル実験に関する誤解を解きたい。

2. トンネル窯見学までの調査

タイル実験に関する記載のある著書²⁾を森輝雄氏から送っていただいた。その本は、タイル実験に関連するトンネル窯の写真が表紙を飾り、森氏が常滑市にあるINAXライブミュージアムを訪問して、久野裕明氏、後藤泰男氏、磯村司氏からトンネル窯の解説を受けたことが書かれている。

そこから得たキーワードをインターネットで検索することによって表1に示す年表を作成した。さらに、分かっていないので知りたいこと、分かっているようだが疑問に思うこと、不明確なのではっきりさせたいことを整理して見学に臨んだ。

ネット検索は楽に情報を集められるが、不確かな情報も混じっている。最終的に、後藤主任学芸員の解説によって、正しい情報と正しくない情報がクリアになった。やはり、関係者に直に話を聞くことはネット社会になっても重要である。

展示されているトンネル窯は1972年に築窯されており、1953年のタイル実験に使われたものではない。それではタイル実験に使われたトンネル窯は、いつどういう経緯で作られたものであろうか。さらに、多くの書籍で明らかにされていない謎の添加物が何か、ぜひ確認したいと思った次第である。

表1 ネットで調べたタイル実験に関わる年表

年	事項
1887	伊奈初之丞が陶管の製造を開始
1904	日本陶器合名会社設立 (森村グループ、ノリタケの祖)
1917	日本陶器合名会社の製陶研究所を分離して、東洋陶器株式会社設立
1920	東洋陶器がトンネル窯を導入 (英 Dressler 式)
1921	大倉和親の支援を受けて、匿名組合伊奈製陶所創業
1924	伊奈製陶株式会社設立
1928	日本碍子がトンネル窯を導入 (米 Harrop 式)
1934	日本陶器がトンネル窯を導入 (独 Kerabedarf 式)
1934	伊奈製陶がトンネル窯を導入 (常滑 1 号窯)
1938	伊奈製陶がトンネル窯を築窯 (常滑 2 号窯)
1945	伊奈製陶が衛生陶器の製造開始 (東洋陶器とライバル関係に)
1953	● タイル実験 (どの窯で?)
1972	伊奈製陶がトンネル窯を築窯 (伊賀の上野外装工場 2 号窯)
1985	株式会社イナックスに商号変更
2005	上野外装工場 2 号窯を火止め
2006	上野外装工場 2 号窯を部分移築 →INAX ライブミュージアムで公開
2011	INAX が株式会社 LIXIL に統合